

---

# 間桐の最強の魔術師

幻龍星

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

間桐の最強の魔術師

### 【Nコード】

N0379Z

### 【作者名】

幻龍星

### 【あらすじ】

Fet a / z e r o の i f の物語です。これは作者の、処女作しかも駄文なので、嫌と言う人はバックをおすすめします

## 第0話（前書き）

こんにちは、幻龍星です。作者は厨二なのでよろしくおねがします

## 第0話

「知らない天井だ」

なぜ、こんなことになっているのかと一言で言えば転生しました、トラックに事故られ、変な神様がチート能力あげるから好きな世界に行つてと、言われ、赤ちゃんプレイかよーーと思つたら死ぬ前と同じからだでした

ちなみにチート能力はあとで説明するぜ

とりあえずどこだか、確認しようと移動したら。

「ようやく起きたか、氷夜いつまで寝てるつもりじゃ」

えー！ー！ーまさかの臓硯なんで、まさかここ、間桐の家！ー！俺が甲子園の決勝でサヨナラホームランを打たれたピッチャーのような格好をしていたら。

「なにをしている氷夜、聖杯戦争のための修行の旅の支度はできているんか、貴様は雁夜と違って家を次ぐのじゃぞ」

俺がなんで間桐の家をつがなくちゃならないんだよ、いやまてよちよつと聞いてみるか。

「なあ、臓硯おれは何者なんだ」

つと聞いてみたほかの人から見たらなにこいつ、頭がついにいかれたのかと思うがこれは大事だ。何故なら俺が誰なのかがわかるだ。

「なにを、言っているのだ氷夜、貴様はわしの息子で、雁夜の弟じやぞ」



## 第0話（後書き）

臓硯の口調が分からない、いやまじで。次はキャラ説明です

## 主人公説明（前書き）

タイトルのとおりです。

## 主人公説明

名前 間桐 氷夜 ひょうや

性別 男 年齢 16

身長 180センチ

性格 結構真面目だが、きれたり、自分に何かが起きたら性格が超変わる

容姿 ぶっちゃけ言うといケメン、細かく言うなら、いつか天魔の黒兔の紅 日向の片めがねとったバージョン。

チート能力 めだかボックスの異常、マイナスの能力 好んで使うのは不慮の事故 エンカウンター

前世は交通事故でなくなり神様に頼んでこの世界に来た、モテモテで女遊びが激しい、原作の女性キャラもほとんど、喰われている。





## 主人公説明（後書き）

自分は不定期で更新するのよろしく。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0379z/>

---

間桐の最強の魔術師

2011年12月1日16時09分発行